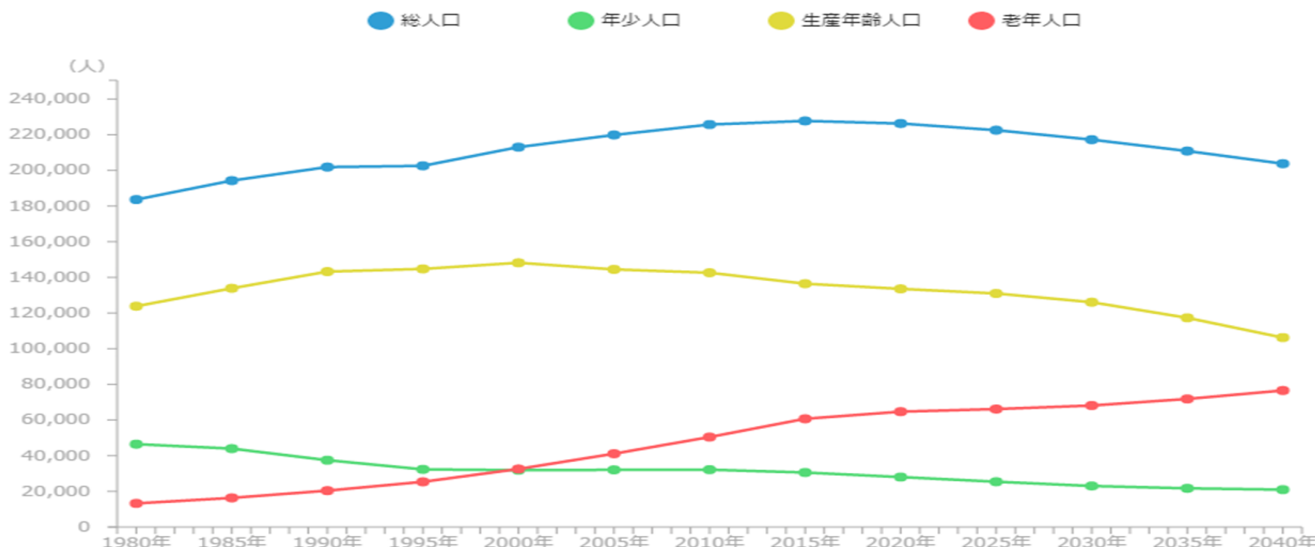


平成28年度9月議会 一般質問内容(9/29)①

市民の所得が向上して行くためには、宝塚市の地域経済が好循環していかねばなりません。

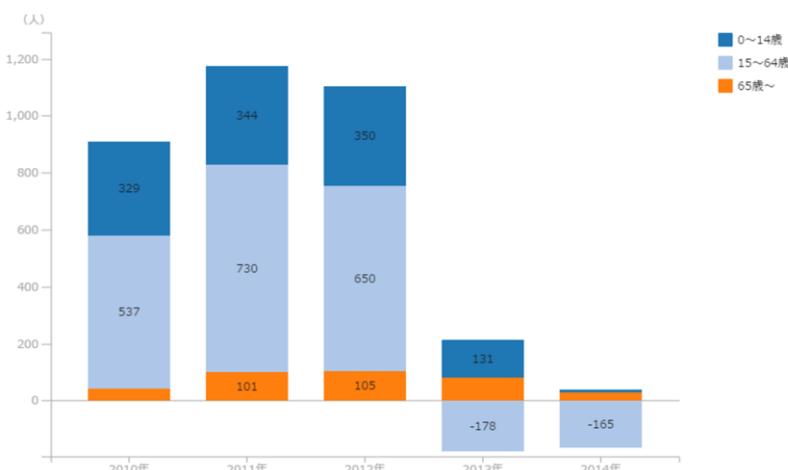
表 宝塚市人口推移予測



地域経済が好循環していく前提として、まず我が市の人口の増減や移動について考えなければなりません。

表 年齢階級別純移動数

昨今人口減少が問題視されていますが、我が市においては総人口の減少はゆるやかですので、生産年齢人口(15歳から65歳)の減少に対してFOCUSした対策を立てて行かねばならないこと、そして、阪神間各市の転出・転入状況を見ると、主に阪神間で移動がされていることから、近隣他市との都市間競争は避けて通れない現状であることがわかります。



都市間競争が激化する中、我が市の生産年齢人口の増減を見ると近隣他市に比べ、2013年度以降負けているのが現状です。

しかし、財政の厳しい我が市において、施策の充実を図ろうとすると、商工費や土木費にかかる予算が出て来ず、悪循環になっています。

そこで、これまで宝塚市政がおろそかにしてきた経済対策を、本腰を入れてやらなければならないことを、RESAS(「地域経済分析システム」、いわゆる「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」)やその他のデータを踏まえて、意見致しました。

次ページの、地域経済循環図を見ると、宝塚市では2010年、6887億円の所得がありますが、市内での支出は4360億円で、2500億円以上が地域外に流出してしまっています。地域経済循環率は63.3%で、全国の市町村1741のうち、民間消費では1,336位、民間投資430位、その他支出1,424位とかなり低い状態です。

市外流出を抑え、市内でお金が回るようになると、雇用が生まれ、所得が向上、市税収入は増加します。活気が出てくると、民間投資を呼び込むことができます。そして好循環が生まれます。次ページで、市内でお金が回るようにするために何が必要か考えていきたいと思います。

一般質問は、宝塚市議会ホームページ宝塚市議会中継で動画配信中です！